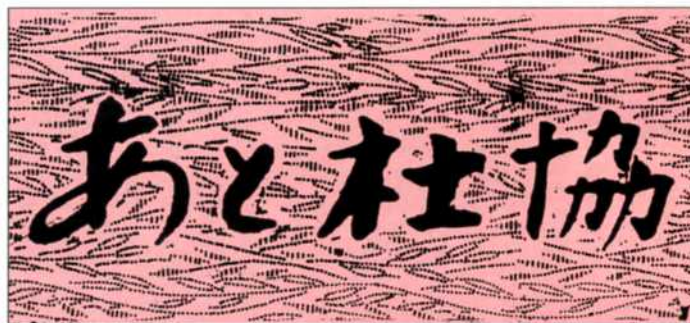




会報第121号

平成24年 6 月29日発行

阿 戸 地 区 社 会

福 祉 協 議 会

広島市阿戸福祉センター内

電 話 856-0294

阿戸町の世帯・人口

世 帯 数	954戸
人 口	2,344人
男	1,156人
女	1,188人

(平成24年 5 月末現在)

平成二四年度

事業計画・予算の概要

阿戸地区社会福祉協議会

事務局長 景山 尚文

四月二十六日に阿戸福祉センターで阿戸地区社協の評議員会が開催され、平成二三年度事業・決算報告及び平成二四年度事業計画・予算が承認されました。

平成二三年度の事業内容は大部分前年を踏襲し、部会長を中心に新たな体制で事業に取り組みましたが、いきいきサロンの増設等一部事業の未実施や経費の節減により、繰越金が四五万円となりました。

また備品整備の国庫補助金四四万九千円を補正すると共に、企業等のご協力で賛助会費

八万円を計上することが出来ました。

平成二四年度は再編二年目となり、事業内容、予算構成等について次のとおり一部改正を行います、福祉活動に取り組んで参ります。

① 地域福祉費のうち、コミュニティ活動等助成金一九万円を廃止し、連合町内会から助成することに変更し、会費を六〇〇円から四〇〇円に改正を行いました。

② 新たな事業として「町内会班単位ネットワーク（あーとネット）」づくりに取り組むため、地域福祉費の中にネット推進費一〇万五千円を計上しました。

③ 金婚祝い事業の実施のための経費を計上したため総務費を増額しました。

④ 新たに中学生の卒業祝い事業を実施するため児童等福祉費を増額しました。



3月18日、35回目となる阿戸町恒例のウォークラリー大会が今年も開催されました。時より雨の降る天候にもかかわらず多くの参加者で賑わいました。

阿戸地区社協予算・決算状況

(単位: 円)

	予算費目	23年度予算額	23年度決算額	24年度予算額
収入の部	会 費	447,000	446,100	296,000
	賛 助 会 費	25,000	80,000	80,000
	補 助 金	869,000	862,880	430,000
	寄 付 金	650,000	597,568	450,000
	繰 越 金	233,610	233,610	451,661
	そ の 他	390	62,155	339
	合 計	2,225,000	2,282,313	1,708,000

※23年度当初予算 1,776,000円 補助金 449,000円 補正

	予算費目	23年度予算額	23年度決算額	24年度予算額
支出の部	事 務 費	218,000	156,212	218,000
	総 務 費	95,000	39,576	125,000
	備 品 購 入 費	449,000	449,000	30,000
	広 報 費	250,000	178,078	200,000
	地 域 福 祉 費	395,000	313,657	270,000
	敬老会開催費	300,000	294,733	320,000
	高齢者福祉費	220,000	200,991	235,000
	ボラ・推進費	80,000	53,494	80,000
	児童等福祉費	142,000	113,606	175,000
	障害者福祉費	35,000	31,305	35,000
	予 備 費	41,000	0	20,000
	合 計	2,225,000	1,830,652	1,708,000

児童・障がい児者部会

部会長 高山 義昭

「阿戸町にふさわしい

活動に一致団結して」

児童・障がい児者部会では、年十回の事業を計画し、展開しています。

主な事業を推し進めていくにあたっては、年二回の福祉教育推進会議を各半期の初めに開催

し、事業について意見交換、検討を行います。

平成24年度活動方針

この会議は、小中学校校長、同PTA会長、民児協会長及び委員、各老人クラブ会長、ボランティアグループ等々、町を上げての有識者の協力を仰ぎ推進しています。

中でも、児童・障がい児者部会では、高齢者とのふれあい交流を多く計画しています。

高齢者の方たちは、技、経験とも本にはないすばらしいものを持っておられ、児童・生徒たちに教えて下さいます。

このことから高齢者（老人クラブ）の人たちの協力なくして事業を行うことはできません。

児童、障がい児者をみんなで見守り、安全で健康に、かつ快適に過ごすことが出来るよう、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

高齢者・ボランティア部会

部会長 真藤 和夫

高齢者・ボランティア部会の平成二四年度の行事予定は、平成二三年度とほぼ同じで、月一回、第二土曜日の「配食サービス」、五月三〇日の「食中毒予防の講習会」、八月、九月に行う二回の「住民福祉講座」、八月に行う「児童館との交流会」、三月に行う「ひな祭り交流会」が主な行事です。

今年度も無事に実施できるよう頑張るつもりです。町民の皆様にあたたいご支援とご協力をお願いいたします。

地域・福祉部会

部会長 景山 香葉

平成二四年度の地域福祉部会の活動は、昨年度行った活動に加えて、近隣ミニネットワークづくりを各町内会と連携して行っていく予定です。「あーとネット方式」として町内会班単位

のネットワークづくりの検討を行い、推進いたします。

ご近所の方々への心くばりや、助け合いの心を持って、福祉のまちづくりを目指していきたいと思っております。

また昨年度に引き続き、要援護者支援のための緊急連絡カードの作成、充実を図って参ります。

安心して暮らせるまちづくりに皆で努力をして参りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

広報部会

部会長 宇野 耕次

広報部会は、阿戸地区社会福祉協議会の活動内容や目指すべき方向などを、町民の皆様にご理解いただけるよう、今年度も「あと社協」二二一、二二二、二二三号を発行し、町民の皆様のお手元にお届けいたします。

また、必要に応じてパンフレットなどの発行も行い、町民の皆様により知っていただくために、努力して参ります。自由な投稿もお待ちしております。町民の皆様方の忌憚の無いご意見を願います。

役員・評議員

役職・名前・所属部会（◎は部会長）・出身団体（役職別に五十音順）

◆会長	松田 康憲	地域	連合町内会（第四区）	京才小夜子	高齢者	ボランティアグループ
◆副会長	高山 義昭	◎児童	連合町内会（第五区）	鈴政 良男	広報	防犯組合
◆理事	池田 正裕	地域	連合町内会（第三区）・公衆衛生推進協議会	高橋 千秋	児童	ボランティアグループ
◆評議員	池田 美雪	◎高齢者	学識経験者	田中 秀昭	◎高齢者	連合町内会（第五区）
	石井リツ子	◎広報	連合町内会（第一区）	土肥 昭一	児童	老人クラブ連合会
	宇野 耕次	◎地域	民生委員協議会	中川 光利	◎広報	連合町内会（第一区）
	景山 香葉	◎事務局	連合町内会（第六区）	平田 泰宣	◎高齢者	民生委員協議会
	川崎 博子	◎高齢者	ボランティアグループ	藤田まゆみ	◎高齢者	民生委員協議会
	木曾 尚子	◎児童	小学校PTA	松田 英子	◎児童	民生委員協議会
	小森 崇	◎広報	小学校PTA	宮脇 陽路	◎地域	小学校PTA
	真藤 和夫	◎高齢者	老人クラブ連合会	村上 美幸	◎高齢者	青少年健全育成連絡協議会
	出口 勝紀	◎広報	連合町内会（第二区）	山田 篤巳	◎地域	連合町内会（第四区）
	土居 光明	◎児童	青少年健全育成連絡協議会	横路 和夫	◎地域	交通安全運動推進隊
	久光 肇	◎地域	体育協会	吉本 玲子	◎地域	母子寡婦福祉会
	◆監事	◆評議員	◆評議員	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	末永 宏征	◎広報	連合町内会（第二区）	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	古井 智子	◎児童	民生委員協議会	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	伊藤 広子	◎高齢者	女性会	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	井場 光子	◎地域	中学校PTA	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	井場 涉	◎地域	ボランティアグループ	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	植片 洋幸	◎地域	連合町内会（第三区）	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	越智 葉子	◎児童	民生委員協議会	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	景山 子	◎児童	連合町内会（第六区）	◆評議員	◆評議員	◆評議員
	加藤 健治	◎児童	体育協会	◆評議員	◆評議員	◆評議員

お世話になりました

平成二三年度をもって退任された方々です。ありがとうございました。

◆理事

金山 輝彦 広報 体育協会

山根 尚子 児童 中学校PTA

横山輝代子 高齢者 学識経験者

◆評議員

金盛 博司 地域 体育協会

鉄穴 京子 児童 ボランティアグループ

坂口 松美 広報 中学校PTA

去る、平成二四年二月二〇日、理事（当時）の金山輝彦様のご逝去されました。金山様におかれましては、長きにわたり、阿戸社協の役員、理事としてご尽力されました。故人のご功績に敬意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ひな祭り交流会

高齢者・ボランティア部会 真藤 和夫

三月三日が土曜日だったの、園児と高齢者とのひなまつり交流会は一日早く三月二日に福祉センター二階ホールで行われました。保育園、幼稚園合同で園児総勢三十八名、高齢者側は、ながつき会のお年寄り、それにお世話する部会、民生委員、女性会、ほことり会のボランティアの人、総勢四十三名が、一堂に会して楽しいひとときを過ごしました。園児たちの手作りのお雛様が壇上にずらっと並びかわいら



阿戸町ウォーク

ラリー大会

阿戸地区青少協 香島 まみ

毎年、年度最後の町内行事であるウォークラリー大会。今年で三五回を迎えました。お正月明けすぐから毎週日曜日の午前中をさいて、コースの下見から検討、決定まで、時には雪の降る中を歩くこともあり

ます。特にコース地図作りは大変で、何度も歩いては修正、歩いては修正の繰り返しで、ようやく出来上がる手作り地図です。チェックポイントでのゲームやクイズを考えて看板を作ったり、コースの安全に配慮して整備したりもします。

大会当日には、交通安全運動推進隊の方々にも協力いただき、より安全に配慮しています。一時期は参加者数が減少していく傾向にありましたが、最近はまだ少しずつ増えてきて、今年は悪天候にもかかわらず一五四名の参加がありました。町外からの参加も少しずつずつが増えていきます。

阿戸の風物詩とも言えるウォークラリー大会、みなで協力して末永く続いていきますように。

(※一面に写真掲載)

念願の

0、1、2歳児の

保育スタート!

主任児童委員 古井 智子

この四月から阿戸保育園で、長年の念願であった0、1、2歳児の受け入れが始まりました。これまでは、働くお母さん達は町外の保育園に入れるしかなく、親子共々大変な思いをされていた。

先日、赤ちゃん組の部屋を見学させていただきました。赤



ちゃん達は、先生を後追いました、手作りのおもちゃで遊んだり、工夫された離乳食を食べたりと、すっかり慣れている様子でした。阿戸の子ども達を阿戸の自然環境と地域のふれあいの中で保育できるということもあり、お母さん達は安心して、仕事に子育てにと頑張られています。

現在は、今の園舎を一部改築して保育されていますが、二六年度の認定子ども園開園に向けて、来年度から幼稚園の敷地の方で建築工事が始まる予定です。連合町内会を始め皆様のご協力により、子育て環境の整備がひとつずつ実現していることに感謝で一杯です。

阿戸地区社協

賛助会員の紹介

阿戸地区社協では「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して活動をしており、賛同いただける企業・団体等の方々を募り、賛助会員（年額一口五千元）として福祉のまちづくりを支えていただいております。

賛助会員は随時募集しておりますので、ご協力いただける場合は、阿戸地区社協（阿戸福祉センター 電話85610294）までご連絡お願いいたします。

現在ご協力いただいております賛助会員さんをご報告いたしますとともに心より厚くお礼申し上げます。

◆阿戸町内

(有)ナンバシコウ

(株)平垣内組阿戸営業所

くにくさ苑

りは・くにくさ

米吉食品

あとの郷

(株)アンドー

エーコープ阿戸店

(株)TODA

中本興業(有)

西日本レジコート(株)

芸州運輸(株)

(有)瀬野川鉄工所

◆阿戸町外

アキソーゴー(株)／熊野町

ひまわり印刷(株)／海田町

きむら(株)／矢野東

(順不同、敬称略)



善意の灯

次の方々から、ご寄付をいただきました。この善意は住民福祉活動のため、有効に活用させていただきます。

ご厚志、まことにありがとうございます。

◆香典の返礼にかえて

金山美行様

向窪紀晴様

土肥カツ子様

地主正宏様

溝手裕幸様

◆見舞いの返礼にかえて

新庄トノエ様

竹廣潔様

◆一般寄付

宮原邦子様

山田先生叙勲受章を祝う会様

匿名様

●住民福祉講座のご案内

〈第一回〉八月二十五日(土)

一三時三〇分～一五時三〇分

誰もが安心して暮らせる地域づくり

孤立を防ぎ、

地域の絆を強めよう

講師 前広島市ボランティア情報センター所長

社会福祉士、成年後見人

元スクールカウンセラー

薬真寺 真理子 氏

〈第二回〉九月二十六日(水)

一三時三〇分～一五時三〇分

車椅子利用者への理解と支援方法、車椅子体験

講師 車椅子利用者の方

(調整中)

どちらも会場は福祉センター

です。地域の皆様の多数の参加

をお待ちしています。

●金婚のお祝い

阿戸地区社協では結婚以来

五〇年の永きに亘り、お互い

たわり合い、励まし合って家庭

の隆昌及び地域社会に貢献され

たご夫婦を一月にお祝いた

します。昭和三十七年一月から

一二月までに婚姻届を提出され

ておりますご夫婦は、各区町内

会長又は担当民生委員までお申

し出下さい(締め切り 十月末)。

●阿戸社協のつぎ

「あと社協」第一一九号発行

ひな祭り交流会

正副部長等会議

第六回理事会(二三年度)

小学一年生入学記念品贈

呈

第一回部会長等会議

監査会(二三年度)

第一回理事会

地域推進会議

定例評議員会

第一回福祉教育推進会議

福祉懇談会(第三区)

第二回理事会

食中毒予防講習会

福祉懇談会(第六区)

第二回部会長等会議

福祉懇談会(第一区)

福祉懇談会(第五区)

地域推進会議

(以降、予定)

ふれあいペタンク大会

福祉懇談会

(第二区、第四区)

第一回住民福祉講座

敬老祝賀会

第二回住民福祉講座

毎週月曜日の午後、木曜日の

午前に、困りごとやボラン

ティア活動の相談に応じる

◎毎月(第二土曜日)配食サ一

ビスの実施

編集後記



交通事故は全国的にも広島県下でも減少傾向にありますが、昨年の海田署管内での交通事故発生件数、死者数、負傷者数はいずれも増加をしており、交通推進隊に携わる者として誠に残念な結果であり、厳しい現実を突きつけられました。

発生件数七八六(前年七四八／三八増)、死者数一四(前年二／一二増)、負傷者数一〇〇一(前年九三〇／七一増)。

悲惨な交通事故は、経済的、精神的にも負担は大きく、当事者のみならず家族の人生をも変えてしまうこととなります。

車は便利なものですが、反面、操作を誤ると、とりかえしのつかないこととなります。

慣れた道路を走るときでも緊張感をもって運転し、事故のない日々を願うものです。

広報部会

中川 光利 記